

2021年度 とやま地域学

授業科目名	とやま地域学		
職名	教授	担当教員名	助重雄久
開講時期	1年前期集中		
必修・選択区分	選択	単位数	2
授業の概要	<p>2015年の北陸新幹線開業以来、富山県は多くのメディアに取り上げられ、国内外から注目されています。一方、少子高齢化が一段と進んで地域活力の低下が懸念されており、2018年から県の新総合計画による対策がスタートしました。皆さんにも新時代に対応したライフスタイルの確立が求められています。</p> <p>今年度の「とやま地域学」は、「富山の魅力と宝物の発見」をテーマとし、皆さんに富山をもっと知り、その魅力を発見してもらうことを目的としています。そのために、「富山は日本のスウェーデン」の著書とは別の視点に立ち、富山の自然・歴史や現状、未来について、さまざまな分野の専門家から学びます。富山の魅力を発見し、活力ある富山の地域づくりについて、皆さんの視点から考えてみましょう。</p>		
キーワード	富山の歴史と文化	富山の自然と災害	富山の産業と生活
	地方の未来創生	世界遺産	
到達目標	<p>目標1: 富山の歴史文化・産業・生活環境などの現状を学び、特色を理解することができる。</p> <p>目標2: 富山の自然・農業・災害について学び、持続可能で安全な地域づくりを考えることができる。</p> <p>目標3: 政策のプロの講義や現地研修を通し、富山・北陸地域の活性化について考えることができる。</p>		

現代社会学部

ディプロマポリシー	1.「人」としての能力(人間性の向上)
カリキュラムポリシー	①現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
		○		

教授方法(授業方法)

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学習指導・自主活動
○				○	

授業計画

回数	授業内容詳細	
第1回-8月30日(月)1限	9:30~10:00 受付(出席確認・テキスト配布・手指消毒) 10:00~10:30 学長挨拶「とやま地域学」で学んで欲しいこと 富山国際大学学長 高木 利久	
第2回-8月30日(月)2限	授業ガイダンス・日程等に関する説明 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	
第3回-8月30日(月)3限	未来の富山について考える	AI、デジタル化社会から見る富山 富山国際大学現代社会学部教授 新森 昭宏
第4回-8月30日(月)4限		富山の観光とその未来 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久
第5回-8月31日(火)1限	新しい産業と生活について考える	データから見る富山の産業と生活 富山地域学研究所所長 浜松 誠二 氏
第6回-8月31日(火)2限		朝日町の良さを活かした移住・定住促進 朝日町住民・子ども課移住定住相談員 善田 洋一郎 氏
第7回-8月31日(火)3限		富山県の農林水産業の新しい姿 富山県副知事 横田 美香 氏
第8回-8月31日(火)4限		町家のリノベーションと地域活性化 グリーンノートレーベル株式会社代表取締役 明石 博之 氏
第9回-9月 1日(水)1限	富山の自然と歴史について考える	富山の生活と水 富山国際大学名誉教授 尾畑 納子 氏
第10回-9月 1日(水)2限		富山県の防災の歴史と新幹線開業までの道 消防庁消防大学校客員教授 石井 隆一 氏
第11回-9月 1日(水)3限		北陸・富山の地形の特徴一扇状地や河岸段丘を中心にー 日本黒部学会顧問 國香 正稔 氏
第12回-9月 2日(木)1限		富山市街地の歴史をたどる(レクチャー) 富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏
第13回-9月 2日(木)2限		(フィールドワーク)
第14回-9月 2日(木)3限		(グループ発表)
第15回-9月 2日(木)4限	まとめ 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	

評価方法	受講態度及び毎時の課題、現地研修(50%)、レポート(50%)をもって総合的に評価する。 試験は実施しない。
------	---

備考	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは初回に無料配布予定。 ・授業前後の学習に関しては、本要綱の到達目標を踏まえ初日のオリエンテーションで説明を行う。 ・授業に関する質問などは毎回質問票を配布して各講師に提出する。その他、休憩時間などを利用して質問などに応じる。
----	--

1日の時間割(第1~15回)

1時限目 9:00~10:30 2時限目 10:40~12:10 3時限目 13:00~14:30 4時限目 14:40~16:10